

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 6日

公表

平成31年2月20日

事業所名 ゆうサポートセンターとことこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		クラス分けをすることで限られたスペースを広く使えるようにしました。	室内遊具等工夫はしていますが、体を大きく動かすスペースや設備が不十分です。できる範囲で設備を工夫していきたいですが、他施設利用や外遊びを定期的に取り入れることで改善を図ります。
	2	職員の配置数は適切である	3	2	人材育成のためのOJTを先輩スタッフが行うシステムになっています。人員不足時は他部署より応援を頼んでいます。	数は適当と思われるが、経験年数が浅い職員が多いです。家庭都合で長期休暇を取る職員が複数いる点でお互いフォローできる体制が必要です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	お仕度、机上課題、個別課題、個室スペース、要求の練習の場である玩具置き場、刺激の統制がしやすい活動スペースと分けています。スタッフ間での情報共有はシート、ボード、表等を利用し行っています。	お子さんの成長に伴い、要求の練習の場を工夫し続けていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	2	限られた空間を、パーテーションや机を使い、様々な活動に合わせて設定しています。日々の掃除に加え定期的に玩具の消毒をしています。	お子さんが口に入れた玩具を入れて置く容器を作り、療育後消毒をする流れにすることで清潔な環境を保てるようにしていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		2	問題ごとにその都度、関りの深い方に意見を聞き、対応できることはすぐに対応を考えるようにしています。	全職員が集まる機会が少ない中で、いかに広くスタッフからの意見を取り入れ、PDCAサイクルを作り、回し続けていけるかが課題です。全員が揃わなくてもできるシステム作りを考えていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		毎年、事業所アンケートで保護者の方よりご意見をいただき、可能な部分から業務を改善してきました。	アンケートより保護者の方のご意向を把握すること、改善部分など十分ではない点があると思います。ご意向を把握できるアンケート内容の工夫や業務改善への努力を行っていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		法人全体の研修が毎月1回。事業所内研修は基本毎月2回、業務に関わる研修を外部の講師を招いたり、事業所自体での勉強会を行っています。	事業所内研修の時間を、行事の準備にも使うため、研修の時間の確保が課題です。行事準備の時間を短縮する工夫をしていきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		日々の療育の中で、また、個別課題を行う中でアセスメントを行っています。ご家庭での様子は連絡帳や相談シート、登降園時間等に直接お聞きし、ニーズや課題を分析し、支援計画に反映するようにしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		その時々で、合うシートを選びながらアセスメントを行っています。	アセスメントツールが整理されていないため、標準化されたアセスメントツールを決め、定期的に関同じツールで行っていくことが課題です。

適切な支援の提供

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	どの項目も設けています。項目名は、その項目の中でも特に大切にしたい視点を使用しています。達成したかどうかが明確になる具体的な目標設定を意識しています。	年度ごとに、よりお子さんの支援に合う項目の設定の見直しを行っています。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	支援計画に沿った支援になっています。全職員で共有するため、回覧、日案への記入、取り組む項目を書き出し教室へ掲示する等工夫しています。	作成が遅れることがあり、全職員への周知が遅れたり、日々の療育の中で直接、支援の内容をお願いすることがあります。今後、作成のタイミングが遅れないような流れを作ることが課題です。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	運動会の活動プログラムは全職員で行います。他の行事は各チームごと、日々の活動は、担当職員が中心となり立案し、その都度必要な時に相談しながら行っています。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	その時々のお子さんの興味関心、発達段階、時期を考え、様々な経験が行えるようプログラムを考えています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	5	活動内容に合わせ、また、子供の発達や目標に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせ、どちらも支援計画の中に入れられるようにしています。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	活動前ミーティングシート、日案を活用し、短い時間に打ち合わせ、確認ができるようにしています。その時不在だった職員にも、後で確認できるシステムにしています。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		非常勤の方は支援終了後に時間が取れず、療育中に共有したり、記録に残したり工夫しています。	支援終了後には時間が取れないため、療育内の時間を工夫し、振り返り等を行う時間を毎日確保することが課題です。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	毎日、療育に入った職員が気になる点、子供の強みや成長を感じる部分の記録を取り、それを受けて次からの療育につなげられるよう取り組んでいます。	振り返りの時間が取れないことで、すぐに対応策が考えられない場合もあるため、療育内のミーティングの時間確保が課題です。
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		年三回、モニタリングに基づき、支援計画を作成しています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		子供担当の職員と責任者が参画しています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3		必要な場合、保健センター、子育て支援課、保育課、福祉課の方へ報告し、助言をいただいています。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		年度の初め、また途中でも必要性を感じた時に、保育所や幼稚園へ連絡を取らせていただき、情報を共有したり、訪問させていただき移行支援を行っています。

関

係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		小学校や特別支援学校の先生に来ていただき、支援内容へのご理解や情報の共有をさせていただいています。移行前後、相談支援員が設定してくださる担当者会議に参加させていただき、情報を提供しています。移行時、詳しい引継ぎシートも保護者の方を介し、お渡ししています。保護者の方へは、お子さんを紹介するサポートブックの作成のお手伝いをさせていただいています。	移行先が知りたい情報を知り、お子さんがよりスムーズに移行できるようなお手伝いをしていきたいです。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		他の発達支援事業所を併用している方について、相談支援員が設定して下さる担当者会議の場で情報共有をしています。保護者の方を介し、また、必要な場合は診察時に同行し、医者、言語療法士、作業療法士の助言を受けています。		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		現在、交流の場を作れていません。公園や近くの川等で出合った時に、どのように関わるかを相互に伝えさせていただいています。	検討してみたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3			児童発達支援事業所共有会議へ毎月出席しています。その中で、担当となった年は、自立支援協議会子ども部会にも参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時、保護者の方とお話しする職員が子供の情報を伝えあうことを意識し、その内容を、担当職員に必ず報告する流れとなっています。報告を受けた担当職員はすぐに対応するように心がけています。連絡帳は、常勤職員は全て読んでいます。非常勤職員もほぼ読んでいます。	担当職員は、子供の状況や課題点を保護者の方と共有できるよう話す機会を作るよう意識していますが、十分ではない部分もあります。より伝えあえる機会を作ることが今後の課題です。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	1		月1回の保護者会の中で、子供への理解を深めるワークやサポートブック作成に関すること、ご家庭で取り組めるプログラムの提供を行っています。	ご家庭の事情などもあり、ご参加いただけない場合もあります。貴重な学びの機会のため、出席していただけるようお声掛けしたり、別の機会にお伝えをさせていただくことが大切な課題です。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			入園時にお伝えをさせていただいています。	年度初めの保護者会等で、継続される方へも再度説明をさせていただく機会を作ること検討します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			年3回、面談の機会を設定し、同意をいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			連絡帳、相談シート、送迎時にお話をお伺いするなど定期的に悩みをお聞きする機会作りを行っています。	十分ではない点があります。今後も、安心して頂けるような支援を心がけていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			毎月保護者会を開催しています。保護者会の中で、交流、情報共有ができるグループワーク等を取り入れています。必要場合は、学びを共有できる場を設定させていただいています。	保護者の方の希望されておられる連携作りがどのようなものかを教えていただける機会を作りたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			保護者の方より相談や申し入れがあったことは、必ず、担当職員、責任者にすぐに伝えることを全職員に周知しています。	すぐに対応できなかったこともあるため、安定した迅速な対応と対応を行う職員数を増やすための人材育成を行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6				

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		視覚的な理解を得意とするお子さんに、視覚的な手がかりの取り方を学べるように関わり、視覚的なものを介してやり取りするようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	法人全体では地域の方に来ていただけるおまつりを年1回実施しています。事業所としてはハロウィンには、仮装して地域内を歩かせていますが、直接招待するなどの機会作りは行えていません。	相互にとって良い関わり方を探っていきたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	実施できているものと、できていないものがあります。	保護者の方との共有と、様々な想定での訓練は今後の課題です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		基本、毎月一回避難訓練を行っています。保護者の方より、非常食を預らせていただいています。年度途中で、新しいものとの入れ替えも行っていきます。	お子さんにとってより現実に即した訓練を工夫していきます。各職員が自分の取るべき行動を熟知できるよう訓練を重ねていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		入園時、保護者からのアセスメント集に服薬、てんかん発作、体に関する注意事項等の記入をして頂いています。	予防接種については、十分ではありません。アセスメント集の項目に加えることを検討します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	入園時、保護者からアセスメント集に記入して頂き、アレルギーのあるものは提供しないようにしています。医師の指示書に関しては、事業所では所持しておらず、保護者の方を介し、医師の診察結果をお聞きするようにしています。	アレルギー項目に関しては、全スタッフと共有し、掲示し、毎日のお弁当内を確認する作業を忘れずに行います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハットが起きた時は、すぐに規定のシートに記入し、2人以上で対応策を考えた後、次の朝MTで共有できるように心がけています。	話し合う時間が取れず、共有が遅れてしまうこともあるため、今後、時間を確保し、すぐに共有を徹底することが課題です。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		法人の全体研修の中で研修を行っています。日常の中では、思い当たるものがある場合は、規定のシートに記入し、対応を考え、上司に報告するシステムとなっています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		支援計画に記載した事項を、面談時に説明させていただいています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

平成31年2月1日

アンケート期間:平成30年 12月19日～平成30年12月27日

事業所名 ゆうサポートセンター、保護者等数(児童数) 14名 回収数 10名 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	2			限られた空間をととも工夫して活動できる様にしています。体を思い切り動かせるような広さがあるとありがたいです。	園庭や遊戯室等を切望しておりますが、確保が難しい状況です。定期的な外遊び、室内遊具、公共施設の利用を引き続き行い、体を動かす機会を保障していきたいと考えております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10				ひとり、ひとりに合った環境でとても分かりやすく、本当に素晴らしいと思います。支度のスペースが分かりやすく、一人ひとりに合わせた支援を丁寧にもらっています。子供が分かりやすく工夫して頂いていて、本人も分かったらできる事が増えています。家でも取り入れさせてもらっています。	ありがとうございます。限られたスペースではありますが、お子さんに分かりやすく、成長を促すことのできる安心できる環境作りを今後も考え工夫していきたいと思っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1				棚や机、パーテーションの配置等で分かりやすく、活動に合わせた空間の使い方をより一層工夫していきます。毎日の掃除に加え、口に入れてしまった玩具を入れるかごを用意し一日の終わりに消毒するようにします。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10				とても具体的に書かれていて子どもの姿をイメージしやすいです。面談や相談時の内容も、しっかり取り組んでいただけています。	ありがとうございます。今のお子さんにとって大事な課題に日々の療育の中で取り組み続けられるような具体的な計画を今後も意識していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1		1	その時々のお悩みや困り事に対して、その都度対応を変えて下さり、本当にありがたいと思います。	ありがとうございます。ガイドラインに乗った計画となっております。面談時、保護者の方のご意向もさらにお聞かせいただきながら、よりお子さんの今に即した具体的な計画となるようにしていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10				日々色々な方法を試して取り組んで頂いています。子供の様子に合う様に、その都度変えていってもらっています。	ありがとうございます。時期的なもの以外に、お子さんの発達のねらい、興味関心等に合わせて考えております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	2	2	近所の保育園の子たちとの交流までできたら素晴らしいなあと思います。	交流の機会があると良いなと思います。なかなか難しいかもしれませんが、検討してみたいと思います。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1					

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	9	1			
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	1		家庭で行うような内容のトレーニングを取り入れてもらっています。 無回答1	保護者会の中で、ご家庭での様々な取り組みについて学びの機会を提供させていただいております。分からない点、他にもご要望がありましたらいつでも教えてください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	1		毎日、送迎時、話しをしっかりと聞いてもらって、その内容について話をしっかりともらっています。	ありがとうございます。送迎時や連絡帳での保護者の方とのやり取りはとても大切な時間だと考えております。十分できてはいないかもしれませんが、今後も誠心誠意行って参りたいと思います。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	3		他の家庭での工夫している事などを聞けるので、家でもあれやってみようかな?とか、情報が得られるので良いと思います。 保護者会は毎回参加するとプラスになる事ばかりでとても助かります。	保護者同士の連携につきましては、保護者会の中でグルーブトーク、お子さんごとのテーマに合わせた共有の場作り等で機会を作らせていただいておりますが、さらに連携を取りやすくする活動として、保護者の方のご希望もお聞きしながら、今後、とことこのお手伝い等をお願いする等、緩やかな繋がりができるような機会作りを検討していきたいと思っております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	2		困っている事にすぐに対応して下さりいつも本当に助かっています。すぐ先生方を頼りにしています。	ありがとうございます。保護者の方からの相談は必ず担当職員、責任者へ連絡が入る流れになっております。ですが、お返事が遅れたり、十分ではない部分はまだまだあると思っております。迅速な対応を心がけると同時に、対応できる職員を育てていきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10			毎月の会報で、内容も良く分かります。 ホームページもあるので確認させてもらっています。	見て頂きありがとうございます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	9	1		他の子のプリントがはさまっていたことがあった。	大変申し訳ありません。今後、そのようなことがないように全職員で注意していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	1	1	家庭ではどのような対策をしたら良いのかを教えてもらえる機会がほしいです。	とことこでの避難訓練等の様子をお知らせしていきます。保護者会のテーマとしても検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			災害用非常食も備え、避難訓練もやってもらっているので、子供に少しずつ体験ができていると思います。	職員の動き方をより具体的にイメージした上で訓練を行い、お子さんへの伝え方(何をして過ごすか)をより明確にできるようにしていきます。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1		とても本人も安心して行ける場所だと思っているなど感じます。毎日、嫌がることなく楽しんで行けていると思います。安心できる場所があり、ありがたいです。	ありがとうございます。安心して通っていただけることを第一に考え、その安心感を土台にして、楽しい活動を広げたいと考えています。
	23	事業所の支援に満足しているか	10			大変満足しています。いつも子供に対しても保護者に対してもきめ細かい対応をしていただき感謝しています。	ありがとうございます。お子さんとご家族の方が充実した生活を送られるために、少しでも力となれるよう、全職員の支援力を高めていきたいと考えています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。